

「咬合、呼吸、姿勢制御について」

生涯研修認定講師小笠原明弘

ここ数年の社会の大きな変化とともにあらゆる物、人、仕組みが複雑にかみ合い淘汰され、歯科業界の変化は、歯科医学のみの研究に留まらず、むしろ IT 関連のシステムの影響のほうが大きいといっても過言ではない。しかし、生体というものは実はそれほどスピードでは進化はしていないのであって、その中で暮らす我々歯科業界の人間は、社会生活の変化をも正確にとらえる努力が必要であり、我々が担っている歯科の重要性と意味を忘れてはいけないと思う。

我々歯科技工士は咬合理論、システム、先進機器、などを駆使して生体のかみ合わせをデザインする職業である。地球に生きる人間が平等に重力の恩恵を受け、生命維持のため、呼吸をして、スポーツ、社会活動ができるのには複雑なバランスと仕組みがある。咬合面・唇面・口腔内バランスを見て口腔の理論で生体の一部分を作るだけではなくこの生体を維持するシステムに着目して咬合と呼吸と姿勢制御の関係から咬合再構築へのアプローチについてお話ししたい。

日本歯科技工士会生涯研修基本研修 専門課程

「咬合再構築の観点」

生涯研修認定講師 小笠原明弘

「咬合」を考えるには、口腔内のある時だけのバランス、咬合理論的デザイン、だけで完成しては必ずひずみが出てくる。

そこで生体の一部を作る我々歯科技工士にとって必要なものは、生体のもつ仕組み、構造、重力、生活習慣、栄養学など、多岐にわたる。歯科に携わるものにとっての咬合再構築の持つ意味、必要性、は社会からも求められている。

一人ひとり条件が違う臨床例の中から、歯科の仕事を再考してみたい。